

# ま、ま、は、い

## 「そして生きよ」

「主はイスラエルの家にこう言われる。私を求めよ、そして生きよ。」

(アモス書 第5章4節・旧約聖書1414頁)

はじめに

列王記でも触れましたが、日々の生活の中に信仰を離れさせてしまうような危険が潜んでいます。なにか違和感を餅ながら、それをほっておくと、いつの間にかそれが罪として増幅し、信仰による祝福を失うことが起こりうるのです。アモスの預言でも共通していることが、私たちの信仰の危機に対して語られる神の言葉です。今回は、預言者アモスが伝える私たちの決断を迫る言葉について見ていくことにします。ことをなされる神

アモスの出身地テコアはサムエル記下第14章に登場する「知恵ある女」がいた町です。アモスはウジヤ王の時代なので、直接の関係はないものの、テコアには「言葉」を重んじる文化があったと思います。また「あの地震二年前」と記しています。250年後にベルシャ王ダレイオスの時代にゼカリヤが「主の日」を語る中で、「ユダの王ウジヤの時代に地震を避けて逃げたように」(14:5)と表現していることから大地震であったようですが、ゼカリヤの預言の内容も含めて考えると、これは神が間違いなくことをなすのだということを強調しています。主の十字架の日に地震が起こっているのも同様に、神の揺るがない決意と受け取らねばなりません。何をなされるのか

では神は何をなされようとしているのでしょうか。アモスの預言はエルサレムから遠いダマスコから始まっています。「三つの背きの罪、四つの背きの罪」とは、ヘブライ語の強調表現

で、三つでも多いのに、それを上回る四つもある」とその罪の重さを指摘しているのです。ガザ、ティルス、エドムと、その罪を指摘されているのを聞き、ユダの人はどう思っていたでしょうか。私たちも、聖書を読みながら、この言葉はあの人に聞かせたいと思うことはないでしょうか。神の裁きの言葉は「あの人」に向けて当然だと思っていなくていいでしょうか。

しかし、神の言葉はその鈍感になっている私たちを名指して、その罪を指摘されるのです。「あなたが自分の力で生きてきたと思っているが、私の恵みが支えていたのではないか。それなのに、あなたは神の言葉をしりぞけた」。神はその罪をさばこうとされているのだとアモスは、私たちに警告したのでした。

私を求めよ

神は私たちに「生きよ」と言われます。祝福されて生きるために、私を求めよと言われるのです。「ベテルを求めな」とは、大切なのは聖所に行き、形式的な礼拝をささげることではないとの意味でしょう。「ギルガル」は約束の地に入ってからすぐに宿営を張った場所、「ベエル・シェバ」はアブラハム、イサクと深い関係がある場所ですが、信仰年数に関係なく、恵みにぶら下がるのではなく、「今の私」が神に扱われなければならないのだと教えています。主を求めなければ、信仰に行き続けることはできません。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】  
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



## 今週の祈り

「主はイスラエルの家にこう言われる。私を求めよ、そして生きよ。しかし、ベテルを求めぬな。ギルガルに行くな。ベエル・シェバに赴くな。ギルガルは必ず捕囚として連れ去られ、ベテルは無に帰するから。主を求めよ、そして生きよ。さもないと主は火のように、ヨセフの家に襲いかかり、火がなめ尽くしても、ベテルのために消す者はない。」(アモス書5:4～6)

私は自分よりも他の人の罪の方が重いと思いき、神さまはきっとその人たちを裁かれると思っていました。しかし、そうではなく、神さ



まは、神さまに逆らう人たちだけではなく、私が忘れていたような、隠れていた罪をも指摘され、あなたも赦すことができないくらい、多くの罪を持っているのだと言われました。かたちだけ礼拝を守っていても、また信仰生活の長さや、知識の豊富さを誇っているような自分も、それは、違うものを求めている態度だと警告されました。どうか私が神さまの祝福に生きるために、神さまを求め、ただ御言葉を求めて行くことができるようにしてください。そして、恵みに生かしてください。御名によってお祈りいたします。アーメン。

## 深読みにチャレンジ!

### 箴言 (69) 第3章31節

\*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「暴虐をなす者を羨むな。その道のいずれも選んではならない。」

◎口語訳 「暴虐な人を、うらやんではいけません、そのすべての道を選んではならない。」

◎新改訳 「暴虐の者をうらやむな。そのすべての道を選ぶな。」

### 「いずれも」

この節に「いずれも」とあります。つまり、選択肢があるような訳し方をしているのですが、「暴虐をなす」としかありません。例えば、「暴虐をなしたり、悪事を働いたりしてはならない。その道のいずれも選んではならない」なら、わかります。選択肢がないように受け取るのですが、どう考えたらよいのでしょうか。

他訳を見てみると、「すべての道」となっています。新共同訳では「乱暴な人をうらやんではいけません、その道をどれ一つ選んではならない」とあります。このことを踏まえて考えると、「暴虐をなす人のやること、すべてのことを、まねしたらいけない」ということなのだと思います。

ヘブライ語でも、「道」は日本語と同様、生き方や行動、また生活習慣などを表す語です。ヘブライ語のニュアンスでは「彼のやっている言動、どれ一つ『いいなあ』、『やってみようかな』

### 【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1～9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1～22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17～31:31)
  - a 知恵ある人の言葉 (22:17～24:34)
  - b ソロモンの言葉 (25:1～29:27)
  - c アゲルの言葉 (30:1～33)
  - d レムエルの言葉 (31:1～31)

などと思うな」となります。

模倣犯という言葉があります。今まで例を見ない犯罪が起こると、必ず同じようなやり方の事件が起こります。「オレオレ詐欺」もその一つです。

暴虐とは、神を神とも恐れぬことを言います。もともと神に反逆し、人を傷つけようとしている人からは、なんの良いものも出てきません。「若気の至り」にならぬよう、そして心の隙を作らぬように、父は子に対し、このような戒めを伝えたのでしょうか。

## 聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

### 【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈禱課題」も祈る。

**【月曜日】** ◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

サムエル記上第15章23節「反逆は占いの罪に等しく 強情は偶像崇拜に等しい。あなたが主の言葉を退けたので 主はあなたを王位から退けられた。」◆「滅ぼし尽くせ」と言われても従わなかったサウルは、「主の言葉を退けた」ことに相違ない。私たちは神に愛されている。そして神に見捨てられることはない。だが、私たちが神に背を向け、神の言葉に従わなければ、その責任は私たちにある。私たちが神を捨てたのだから、私たちは神の祝福を捨てたことになる。エサウは平気で長子の特権を捨てた。そのことで、彼は捨てられているではないか。

●賛美 / 388 ●祈禱課題

◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。  
◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

**【火曜日】** ◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

サムエル記上第16章7節「しかし、主はサムエルに言った。『容姿や背丈に捕らわれてはならない。私は彼を退ける。私は人が見るようには見ないからだ。人は目に映るところを見るが、私は心を見る。』」◆実は、サムエルも見誤った。彼もまた、外見に左右されてしまったのだ。サウルの言動でもわかると思うのだが、容姿やかっこうばかり整えたとしても、信仰の実態がなければ、証しにならないし、またすぐにほろが出る。私たちが人選をする時、かたちにとらわれないようにしましょう。神が立てられた人を祈りつつ選ぼう。

●賛美 / 389 ●祈禱課題

◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a.、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

**【水曜日】** ◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

サムエル記上第17章45節「お前は剣や槍や投げ槍で私に向かって来るが、私はお前が挑戦したイスラエルの戦列の神、万軍の主の名によって、お前に立ち向かう。」◆ダビデはなぜ勝利したのか。主の名を叫んだからだ。「これは主の戦いである」と宣言したからであり、だからこそ、武器は石で十分だったことを体現できたのだ。何もしなかったわけではない。だが、私たちは「主の戦い」といいながら、神が戦おうとする前に、自分がなんだかんだと動きすぎ、神のわざを消している。主の名を叫んだら、主に戦っていただくのではないが。

●賛美 / 390 ●祈禱課題

◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように  
◆宗教法人を取得できるように  
◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

サムエル記上第18章8節「これを聞いてサウルは激怒し、不快の念に駆られて言った。『ダビデには万と言ひ、私には千と言う。あとは王位を与えるだけか。』」◆聖書を読んでもサウルはあまり戦いで手柄を立てていない。子であるヨナタンのほうが活躍しているわけで、「サウルが千」は妥当な評価だ。だが、それに対し、激怒したということは、自尊心を傷つけられただけではなく、現実を受け止められない傲慢さがあつた。サウルは王となることで、神を忘れ、自分があがめられることを求める高ぶりに陥っていたのである。

●賛美／391 ●祈禱課題

◆教会学校の成長と救ひ、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救ひのため。

◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

サムエル記上第19章1節「サウルは息子ヨナタンと家臣全員に、ダビデを殺すように命じた。しかしサウルの子ヨナタンはダビデを深く愛していたので、」◆18:1にもあるが、ヨナタンの心はダビデと結びつき、自分の命のように彼を愛した。この結びつきは、2人が神を深く愛していたからに - 他ならない。人間の感情は変わりやすい。今の人間関係が良好であっても、簡単に崩壊することがある。愛は神からの賜物である。神が私に愛を教え、愛を満たすことによって、人を愛する愛が与えられる。だから主イエスは私たちに命を与えてくださったことができたのだ。

●賛美／392 ●祈禱課題

◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。

◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。

◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

サムエル記上第20章32節「なぜ彼が死ななければならないのですか。彼が何をしたというのです。」◆主イエスの時代、祭司や律法学者はその地位ゆえに民たちを指導していたが、高ぶり、主イエスの人気が出て指示されればされるほどしとし、殺さなければ気持ちが収まらなくなった。サウルもまた同様だった。感情的な問題であり、正当な理由など持ち合わせていなかった。ヨナタンが聞いても、答えられなかった。人を憎む時、それは私に高ぶりがあるからではないか。自分が何をしたのか振り返らなければならないかもしれない。

●賛美／393 ●祈禱課題

◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。

◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

サムエル記上第21章11節「その日ダビデはそこをたち、サウルから逃れてガトの王アキシユのもとに行った。」◆ガトはペリシテ人の町のひとつである。ペリシテ人はダビデにもっとも痛い目に遭っているわけで、ダビデがこの地に逃げ込むのはかけでもあつた。危険なかかけであっても、ダビデはそこに逃げるしか道はなかったのだろう。そのままではすぐさま殺されるので、当時、手をかけてはならない「気の変な人」になって領地に入った。危険と屈辱の中、神がダビデを守られたように、私たちも守られると信じる。

●賛美／394 ●祈禱課題

◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。

◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



# おやこでせいしよ

## ●きょうのせいしよ

【サムエルきじょう 10:17~27】

「おうになったサウル」

(サムエルきじょう 12:24)

イスラエルのひとたちは かみさまから あたえられた とちに それぞれの「ぶぞく」ごとに すんでいました。ぶぞくとは ヤコブのこどもたちから できた おおきなかぞくです。

でも、ぶぞくの リーダーだけでは なかなか まとまることができず、みんなのところが かみさまからはなれてしまうようなことが たくさんおこりました。

みんなは、ほかのくのように おうさまを たてたほうが いいと おもうようになりました。そこで、だいひょうのひとたちが サムエルのところに どうか、ほかのくのように おうさまをつくらせてください。と おねがいしにきたのです。

サムエルは「わたしたちは かみのたみ です。おうさまは かみさまですから、おうさまを たてるひつようはありません」といったの

ですが、みんなは ききいれません。サムエルは かみさまに ききました。すると、みんなの しんこうを かなしみながらも、おうさまを たてることを ゆるしました。そして えらばれたのが サウルです。

サウルは ひとよりも せがたかく、とても かっこいい せいねんでした。また しんこうもありました。はんたいひとひとも いましたが、おおくのひとたちは サウルが おうさまになることを とても よろこび、かんげいしました。そして、サウルは イスラエル というくにの さいしよの おうになったのです。

でも、おうさまだからといって、えらいわけでは ありません。かみさまにしたがい、かみさまを しんじる すがたを たみたちに あらわすことが イスラエルの おうさまには ふさわしいことなのです。

さいしよは とても よかったのですが、「おうさま」といわれているうちに、サウルは どんどん じぶんはえらいのだと おもうようになていきました。

## ●かんがえてみよう

☆イスラエルのひとたちは サムエルに どんな おねがいを してきましたか。(サムエルきじょう 8:5)

☆そのことについて かみさまは サムエルに なんといいましたか。(サムエルきじょう 8:21)

☆サウルが おうさまになると、イスラエルの人たちは なんといいましたか。(サムエルきじょう 10:24)



# なみむ聖書

## もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりませんが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

よいみちをおしえる

		を		し	る			
る		お	を				ち	
			ち			し		
				え	み			
よ	み		い		ち	え	お	る
ち	る	え	お			を	み	い
を	え			い	お	み	よ	ち
		よ			を			
		み			え			を

## ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。教えてください。

- ① すぐのわれたかも
- ② たかせがかった
- ③ おさばくう
- ④ ざいばん

## まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





# 牧師の 聖書 ななめ読み

「恐ろしい生物」

夏は様々所にお出かけになったと思います。夏は一年の中で一番、自然とふれあう機会が多い季節です。それだけに危険もまた伴います。クマとの遭遇は大々的に報じられますが、生命を脅かされる出来事は毎日のように起こっているはずで。例えば、カブトムシを捕りに行った家族がスズメバチに襲われたとか、畑仕事から帰ってきた人が高熱を発生、危篤状態になることもあります。これは最近、多くなっている「マダニ」に刺される被害。亡くなられ

ている方もおられますので、用心しなければなりません。

でも、世界中で、一番恐ろしい生物のトップに挙げられているのは、「蚊」です。理由は言うまでもなく伝染病の媒体だからです。アフリカや東南アジアだけの話ではなく、私たちもうかうかしていません。日本脳炎だけでなく、最近、高熱、激しい頭痛を生じるデング熱が流行しました。

私も水がたまる場所がないように、器などをひっくり返していますし、家の中では冬場でも「ベープ」をたいています。寝るときに「ブーン」というのもたまらないですから。

怖がらなくていいものと避けなければならないものをしっかり区別し、対処したいものです。

## 聖書ふれあい街歩き

### ●ベド・エケド

アハブのことを調べていて、新しく知ったことがありました。アハブ家の滅亡のために神に立てられたイエフがアハブ王の子70人を殺した後、サマリアに向かっている時、アハブと強い関係があった「ユダの王アハズヤの身内」を見つけます(列王下 10)。そしてその一族42人を「ベト・エケド」の水溜めで殺しました。「聖絶」と言う言葉があるのですが、神によってすべての罪汚れが取り除かれていく様子が示されています。

このベド・エケドが、他のところで出てこないかを調べたのです。すると、アブシャロムの反乱の際に、便乗してダビデに反旗を翻したシェバが死んだ場所が「ベド・エケド」として出てきました。でも、サムエル下 20 章にあるその箇所には「ベト・マアカ」になっています。

「ベド」はヘブライ語で「家」の意で、エケドは「結ぶ」「集まる」との意味、「マアカ」は「圧迫する」「押し付ける」との意味を持っています。調べてみましたが、場所は同じようで、みんなの集合場所というような意味なので、重要拠点で、シェバが逃げ込んだ子ども分かるように、要塞都市でした。罪が集められて裁かれた場所だと言えるでしょう。

## ななめ聖書 先週のこたえ

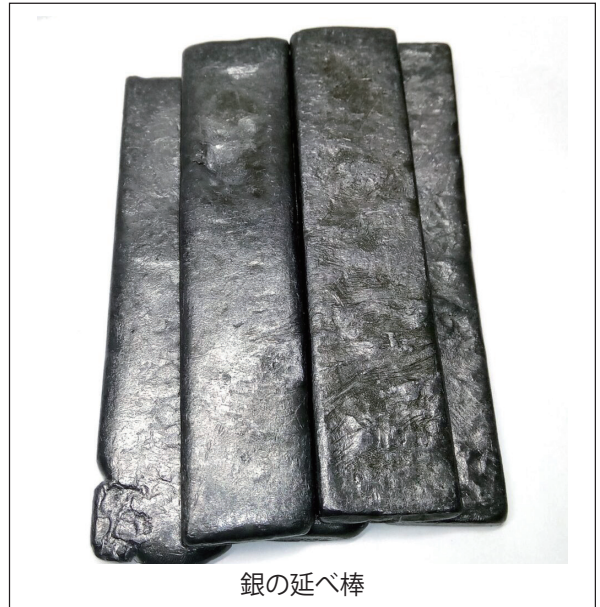
る	を	た	され	む	え	ば	よ
え	ば	む	よ	た	を	る	れ
さ	よ	れ	え	る	ば	を	た
れ	え	さ	た	ば	え	む	よ
む	だ	よ	れ	を	る	ば	さ
を	る	ば	む	よ	さ	た	え
た	れ	え	を	む	よ	さ	る
よ	む	る	ば	さ	た	れ	を
ば	さ	を	る	え	れ	よ	む
た							

- ①かみのともしび
- ②もとのばしょ
- ③むすこたち
- ④みみなり



## エフェソでのパウロ

その頃、この道のことでただならぬ騒動が起こった。デメトリオと言う銀細工師が、アルテミスの神殿の模型を銀で造り、職人たちにかなり利益を得させていた。彼は、この職人たちや同じような仕事をしている者たちを集めて言った。「諸君、ご承知のように、この仕事のお陰で我々はもうけているのだが、諸君が見聞きしているとおり、あのパウロは『手で造ったものなど神ではない』と言って、エフェソばかりでなくアジア州のほとんど全地域で、多くの人を説き伏せ、改宗させている。これでは、我々の仕事の評判が悪くなってしまっておそれがあるだけでなく、偉大な女神アルテミスの神殿もないがしろにされ、アジア州全体、全世界が崇めるこの女神のご威光さえも失われてしまうだろう。」人々はこれを聞いてひどく腹を立て、「偉大なるかな、エフェソ人のアルテミス」と叫んだ。(使徒言行録19:23~28)



銀の延べ棒

## 【銀細工師】

デメトリオたちがどのような商売をしていたか、もう少し解説しておく、当時の様子がより具体的になると思います。

まず、銀はエフェソ周辺からは産出されていませんので、原材料の地金を買わなければなりません。当時、ローマ帝国領地であって最大の産地はヒスパニア州(スペイン)にありました。フィリピン近くのマケドニア鉱山、黒海沿岸などにも点在していたようです。いずれにせよ、鉱山で鉱石から精錬して銀塊とするのは、技術もそうですがそれなりの規模がないとできません。デメトリオが鉱石から精錬してはいなかったはずですが、つまり、加工の技術を身につけていた職人でした。

ヒスパニアの港から地中海をぬけてエフェソ港に入ってきていたのですが、当然、仲介業がいます。鉱石を取って集めた業者が精錬工場に売り、そこで精錬、そこから銀貨にするための工場や加工用の延べ棒を作る業者に振り分けていく。その間に、どんどん値は上がっていきます。相場や銀の純度にもよるわけですが、当時、ローマが流通させていた銀貨、デナリオンで考えてみましょう。

まず、1デナリオンは1日の労働賃金とされていますので1万円とします。銀貨の重さが約20グラムなので、小さな神殿模型だとしても5枚分は使わないと作れないと思います。すると、原材料だけで5万円です。これにデメトリオたちの職人の取り分、つまり加工料が加わりますので、販売価格は8万から10万はしたのではないのでしょうか。当然、小があれば大も中もあったでしょう。そうすると、富裕層向けの100万円くらいする

神殿もあったでしょう。一つ売れば1日分以上の収益が上がるので、相当儲かっていたと想像できます。銀細工人の店もかなりあったはずですが、参拝者は世界から来るわけです。まさに今日本で盛んに言われている「インバウンド需要」で、個人の業者だけでなく、エフェソの町の経済が潤います。そのため、騒動があったとしても、エフェソの議員たちは取り締まることはできず、デメトリオたちを説得し、なんとか穏便にことをすませたいと思っていたわけです。

## 【扇動】

戦国時代、忍者が重要な役割を担っていたと言われていました。近年になって、その証拠となる文献が見つまっているようですが、私たちがイメージしているような、屋敷に忍び込み、暗殺するといった働きより、情報収集が主だったようです。

さらに得意だったのは、「ラッパ」と呼ばれる民衆扇動作戦でした。特命を受けて、敵の町に入り、その領国に不利となる噂を流したり、騒動を起こさせるようなきっかけをつくり、内部で混乱させる働きです。百姓一揆の多くはこのラッパによるものだったとも言われています。近代になっても「スパイ」がこのラッパを継承しています。

明治時代に起こった日露戦争では、ロシア内部に起こった暴動でロシアの力がそがれ、敗北の大きな原因となりました。明石元二郎という外交官が、秘密工作員となり、改革家レーニンなどと接触し、「戦争をやめる」「政府は無能だ」との世論を広め、政府の求心力を失わせたのです。

「十字架につける」も律法学者たちの扇動でした。デメトリオも、その仲間も、この手法を使ったのです。

## キリスト教まるわかり Q&A

### ◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

### ◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

### ◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されておられ、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

### ◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

### ◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

### ◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が異なるため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

### ◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

## 2025年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過ごすために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日に加え、守っています。

### \*\*\*顕現節(1/6～#3/4)\*\*\*

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#3/2)として守ります。

### \*\*\*四旬節(#3/5～#4/12)\*\*\*

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#3/5)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#4/13～4/19)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#4/13)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/17)、十字架にかかれた受難日(#4/18)と過ごしていきます。

### \*\*\*復活節(#4/20～#6/7)\*\*\*

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/20)から始まります。春分の日後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/29)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日#6/1)となります。

### \*\*\*聖霊降臨節(#6/8～#11/29)\*\*\*

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#6/8)から始

まり、三位一体主日(#6/15)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

### \*\*\*待降節(#11/30～12/24)\*\*\*

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/21)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

### \*\*\*降誕節(12/25～1/5)\*\*\*

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

### 【記念日】

母の日(5/11・5月第二)  
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)  
花の日(子どもの日・6/8・6月第二)  
父の日(6/15・6月第三)  
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)  
宗教改革記念日(10/31・1517年)  
収穫感謝日(11/23・11月第四)

### 【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・水)  
成人祝福礼拝(#1/14・1月第二)  
聖書愛読週間(#3/23～29)  
みふみの日(3月23日)  
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/27)  
最後の晩餐集会(#4月17日夕)  
召天者記念合同礼拝(#6/1・6月第二\*今年は第一)  
弾圧記念礼拝(#6月22日・26日前後の主日)  
石出忠師記念礼拝(#7月6日・7月第一)  
敬老祝福礼拝(#9/14・9月第三)  
子ども祝福礼拝(#11/2・11月第一)  
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・水)

## 教会紹介

### ●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

### ●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

#### 【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙二5:17など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙2:19～20など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記15:26など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙一15:51など)

## 教会の信条

さがみはら 相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし 私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が終末と示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

## MEMO

## 単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦 牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

